

平成26年度

# 全国学力・学習状況調査の 結果について



海老名市立柏ヶ谷小学校

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「算数に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「児童質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 4
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 5
(資料) 指導や学習・生活習慣と学力との関係	P. 6



# 全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査（平成23年度は震災の関係で実施を中止）でしたが、昨年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました。

## ◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## ◆ 調査の対象

国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒

- ・ 小学校第6学年
- ・ 中学校第3学年

## ◆ 調査内容

- (1) 教科に関する調査

### 【小学校】

- 国語A・算数A（主として「知識」に関する問題）
- 国語B・算数B（主として「活用」に関する問題）

### 【中学校】

- 国語A・数学A（主として「知識」に関する問題）
- 国語B・数学B（主として「活用」に関する問題）

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

- (2) 児童生徒に対する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

- (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

## ◆ 調査実施日

平成26年4月22日（火）



## 国語に関する調査結果

### 国語 A

(主として「知識」に関する問題)

#### 《優れている所》

- ・文の意味のつながりを捉えて、適切な接続語を選択することができていた。
- ・言葉の意味と使い方を捉え同音異義語について適切なものを選択することができていた。

#### 《努力を要する所》

- ・漢字によって差はみられるものの、書き取りの習得率が低かった。
- ・故事成語の意味や使い方に関しての理解が不十分で、文章の中で適切に用いることができていない。

### 国語 B

(主として「活用」に関する問題)

#### 《優れている所》

- ・二つの詩を比べて読み、表現の工夫を選択肢の中から選択することができていた。

#### 《努力を要する所》

- ・討論会の内容について立場を明確にして、質問や自分の意見を述べることができていなかった。
- ・自分の考えを決められた字数内でまとめることが苦手である。



### 今後の具体的な取組

- ・国語だけではなく、各教科で自分の考えを書き表す活動を取り入れていく。
- ・漢字や故事成語の成り立ちなど、興味を持てるような学習場面を授業に取り入れていく。



## 算数に関する調査結果

### 算数 A

(主として「知識」に関する問題)

#### 《優れている所》

- ・整数の加法、乗法及び小数の減法はよくできていた。
- ・分数の相等及び大小について理解していた。
- ・異分母の分数の加法の計算をすることができていた。
- ・公式を用いて、円の直径から円周の長さを求めることができていた。

#### 《努力を要する所》

- ・単位量あたりの量の考え方をもとにして考えることが苦手である。
- ・平行四辺形の作図に用いられている図形の約束や性質が理解できていない。

### 算数 B

(主として「活用」に関する問題)

#### 《優れている所》

- ・計算の見通しをもって整数の筆算(2位数×1位数)をすることができていた。

#### 《努力を要する所》

- ・基準量の小数倍を求めるなど倍や割合をもとにして考えることが苦手である。
- ・示された情報を整理し、筋道を立て考えることが苦手である。
- ・統計的なグラフの活用方法が理解できていない。



### 今後の具体的な取組

- ・倍、割合、単位量あたりの量などについて、図や絵を活用した授業に取り組んでいく。
- ・算数だけではなく、各教科で自分の考えを発表したり、新聞作りをする場面でグラフ等の活用を取り入れて取り組んでいく。



## 児童質問紙の結果より

### 学習について

#### 《よかった所》

- ・5年生までに受けた授業では、本やインターネットを使って調べたことをもとに、話し合ったり発表したりする活動を行っていた。
- ・国語や算数の学習は将来役立つし、大切に思っている児童が多い。

#### 《課題と思われる所》

- ・友達の考えや意見を最後まで聞いたり、自分の考えや意見をうまく伝えるのが苦手と思っている児童が多い。
- ・国語の授業で、目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりすることが少ない。
- ・家で学校の宿題はほとんどの児童が行っているが、自分で計画を立てて勉強する児童となると半分に減る。

### 生活について

#### 《よかった所》

- ・多くの児童が朝食をしっかりと食べ、規則正しい生活を送っている。
- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかった経験をしている児童が多く、自分にはよいところがあると思っている。
- ・学校に行くのが楽しいと思い協力して何かをやり遂げうれしかった経験をしている。

#### 《課題と思われる所》

- ・普段(月～金曜日)、一日当たり4時間以上、テレビやDVD(テレビゲームは除く)を見たり聞いたりする児童が約40%いる。
- ・普段(月～金曜日)、一日当たり4時間以上、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯・スマホゲームを含む)をする児童が約13%いる。

### 今後の具体的な取組

- ・家庭での過ごし方や時間の使い方について、見通しを持って生活できるよう家庭と連携をして取り組んでいきます。
- ・友達の活動や発言などから学び、自分との違いに気づくような授業を進めていきます。

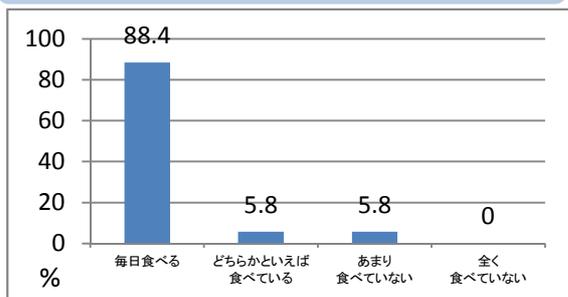
# ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成26年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい6つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

## 1 規則正しい生活習慣を身につけましょう。

「早寝、早起き、朝ごはん」をしっかりと実践していきましょう。

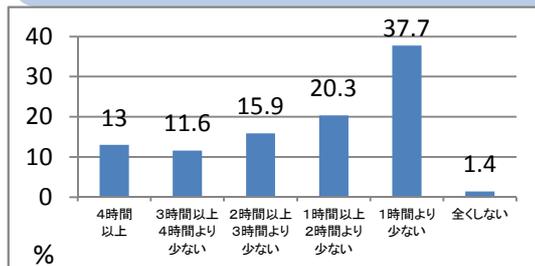
### 朝食を毎日食べていますか



## 2 時間の使い方を見直しましょう。

お子さんとよく話し合い、時間や約束を決めるなどして、時間を有効に使いましょう。

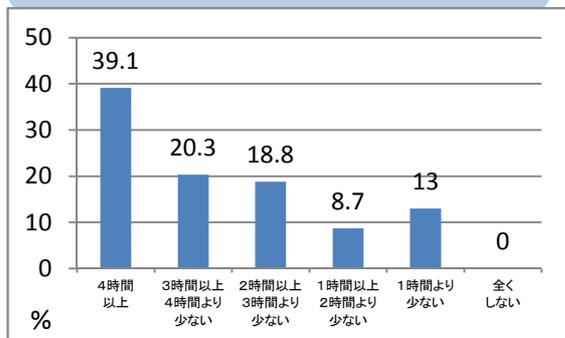
### 普段、一日当たりどれぐらいの時間ゲームをしますか



## 3 時間の使い方を見直しましょう。

お子さんとよく話し合い、時間や約束を決めるなどして、時間を有効に使いましょう。

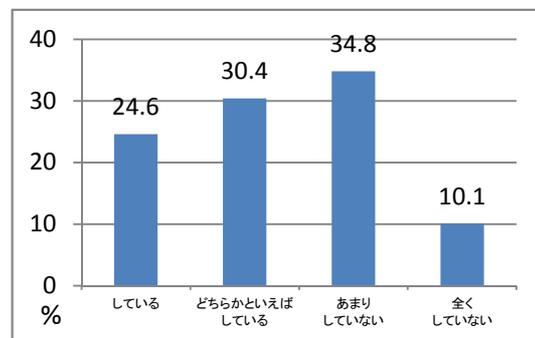
### 普段、一日当たりどれぐらいの時間テレビやDVDを見たり聞いたりしますか



## 4 自分で計画を立てて取り組みましょう。

家庭での勉強について、子ども自身が考えて自ら取り組むよう励ましてください。

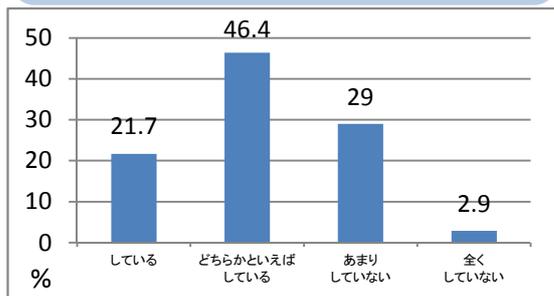
### 自分で計画を立てて家で勉強をしていますか



## 5 失敗を恐れずがんばる心を育てましょう。

進んで挑戦することのよさを知りましょう。

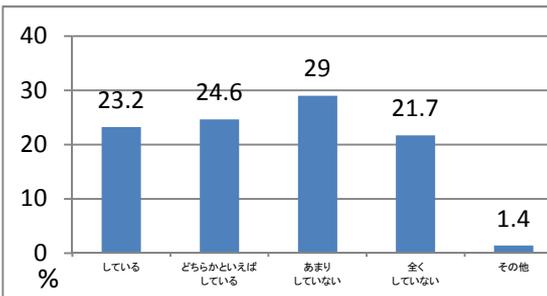
### 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか



## 6 地域の行事に参加しましょう。

地域の行事に参加して地域の一員としての意識を育てましょう。

### 今住んでいる地域の行事に参加していますか。



## 資料

# 指導や学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ており、今後の指導や家庭・地域への呼びかけに生かして行きたいと考えています。

## 学校における指導と学力との関係

次のような指導を行った学校ほど、教科の平均正答率が高い傾向にある。  
さらに、学習意欲や家庭での学習時間等についても高い傾向にある。  
(教科に関する調査、学校質問紙調査より)

### 【指導方法・学習規律】

- ・ 学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞くなど)の維持徹底
- ・ 学習方法(適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する指導
- ・ 学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与える
- ・ 本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導

### 【国語科・算数科の指導方法】

- ・ 発展的な学習の指導
- ・ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業、書く習慣を付ける授業、様々な文章を読む習慣を付ける授業
- ・ 算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業

### 【言語活動】

- ・ 各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付ける
- ・ 様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導
- ・ 発言や活動の時間を確保した授業
- ・ 学級やグループで話し合う活動
- ・ 資料を使って発表ができるよう指導
- ・ 自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導

### 【総合的な学習の時間】

- ・ 総合的な学習の時間における探究活動(課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導)

### 【家庭学習】

- ・ 調べたり文章を書いたりする宿題を与える

### 【研修】

- ・ 教職員が、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映

## 児童の学習・生活習慣と学力との関係

次のような児童ほど、教科の平均正答率が高い傾向にある。  
(教科に関する調査、児童質問紙調査より)

### 【教科への関心・意欲・態度】

- ・ 国語、算数に対する関心・意欲・態度が高い

### 【家庭学習・読書】

- ・ 学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・ 自分で計画立てて勉強をする
- ・ 学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・ 読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

### 【学校生活】

- ・ 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある
- ・ 先生は、自分のよいところを認めてくれると思う

### 【基本的な生活習慣】

- ・ 朝食を毎日食べる
- ・ 毎日、同じぐらいの時刻に寝る

### 【メディアとの関係】

- ・ 携帯電話やスマートフォンで通話・メール・インターネットをする時間が短い
- ・ テレビゲームをしている時間が短い

### 【家庭でのコミュニケーション等】

- ・ 家の人と学校での出来事について話をする
- ・ 家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

### 【社会に対する興味・関心】

- ・ 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・ 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある
- ・ 新聞を読んでいる
- ・ テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る

### 【自尊意識・規範意識】

- ・ ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・ 学校のきまり・規則を守っている
- ・ 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う





平成26年12月